



図書だより

11月

みなさん、風邪をひいていませんか？だんだんと寒い日が増えてきているので体調を崩さないように気をつけて下さい。部屋で暖かくして読書を楽しんでください。



～今月の新刊～

第167回芥川賞受賞！

「二谷さん、わたしと一緒に、芦川さんにいじわるしませんか」
心をざわつかせる、仕事+食べもの+恋愛小説。
職場でそこそこまよくやっている二谷と、皆が守りたくなる存在で料理上手な芦川と、仕事ができがなぶり屋の押尾。
ままならない微妙な人間関係を「食べること」を通して描く傑作。



全部きみが生きた証だから——。迷い泣きながら命と向き合う青春ストーリー

高校1年生の風里は控えめな性格なのが悩み。同じクラスには幼馴染の千冬くんがいるけれど、学校の人気者である彼とは距離ができてしまい、今ではすっかり憧れの存在になっていた。

女の子といふところを見ると嫉妬するけれど、気持ちに気づかないフリをしてきた。

ある日、弟のお見舞いで病院に行くと、千冬くんを見かけた。100日後には低体温で死んでしまう不治の病を患っているという。

風里は後悔しないよう、運命の日まで一生懸命に生きようと決意するが——。

『もしも願いが叶うなら、もう一度だけきみに逢いたくて。』の著者が贈る号泣必至の恋と命と勇気の物語！

この世界にきみがいない。春が来て桜が咲くたびに私は思い出すだろう。たとえきみが隣にいても、一緒に過ごした春を、これまでの思い出を大切に毎日生きていく。

後悔ばかりの日々にさよならをして、胸を張れるようになったら……笑って桜を見上げよう。

女にもてない「私」がようやくめぐりあい、相思相愛になった女。しかし、「私」の生来の暴言、暴力によって、女との同棲生活は緊張をはらんだものになっていく。

金をめぐる女との掛け合いが絶妙な表題作に、女が溺愛するぬいぐるみが悲惨な結末をむかえる「焼却炉行き赤ん坊」を併録。新しい私小説の誕生。



実力テスト直前の職業体験学習で、堀越美晴と同じ町立図書館で働くことを選んだ内人。幽霊が出るというわさのある図書館だったが、一生懸命手伝いをしながら、大人たちの仕事ぶりを目の当たりにする。創也はコンビニ、真田女史は、漫画家の母のアシスタントなど、それぞれの立場で働く意味を考へる。中学2年生たち。そんなある晩、創也とまちがえられたのか、内人が何者かに襲撃される。さらに夜の中学校で、ボクサーが魔物を見たと言い出して……!?

『GROWING UP』

The Linda Lindas (ザ・リンダ・リンダズ)

世界を席巻するティーンエイジ・ガールズ・バンド、LAを中心としたアンダーグラウンド・ミュージックの産物、ザ・リンダ・リンダズのデビュー・アルバム『GROWING UP』が希望のリリース！

クラシック・パンク、ポスト・パンク、パワー・ポップ、ニュー・ウェーブなどの要素を取り入れ、時代を超えた楽曲を4人のメンバーがそれぞれのスタイルとエネルギーで歌い上げる。



「The Linda Lindas」(リンダ・リンダズ)

アジア系、ラテン系、あるいはその双方のルーツを持つミックスルーツのメンバーからなる女性4人組バンド。2022年現在、最年少は12歳、最年長でも17歳。

同級生から向けられた差別へのカウンターとして書かれた曲、ティーンでありながら、有色人種であること、女であることを真っ向からrepしている。また、そういったスタンスによって世界中の年上のファンたちから大人のバンド以上にリスペクトされている。



今回も隙間を有効活用チャレンジ!!



緊急大重版中『15歳のテロリスト』著者の、慟哭の衝撃ミステリー最新作！

廃屋に閉じ込められた六人の高校生たち。あるのは僅かな食糧と、一通の手紙——。【私を殺した犯人を暴け】差出人は真鶴茜。七年前の花火の夜、ここで死んだ恩人だった。

謎の残る不審な事故。だが今更、誰が何のために？恐怖の中、脱出のため彼らはあの夜の証言を重ねていく。

児童福祉司だった茜に救われた過去。みんなと見た花火の感動。その裏側の誰かの不審な行動。見え隠れする嘘と秘密……この中に犯人がいる？

全ての証言が終わる時、衝撃の真実が暴かれる。



強くなるための個人&チーム戦術を徹底図解！

「ウイングから攻めろ！」「インサイドにボールを入れろ！」「余計なドリブルをするな！」「パスをさばけ！」「オフェンスリバウンドに飛び込め！」……。

みなさんも、一度はコーチに言われたことがあるのではないのでしょうか？では、どうしてそのようなプレーをしなければいけないのか……？それらのプレーのホントの意味と正しい実践方法を、理解しているのでしょうか？

本書は、バスケットボールの戦術の基本と実戦で生かす方法を、豊富に掲載した図版と連続写真によって、誰もが簡単に分かるように解説したものです。

バスケットボールを教えるコーチや先生はもちろん、競技をはじめたばかりの小学生から経験の長い社会人まで、どんなレベルの方でも、練習や試合ですぐに生かせる戦術が学べます。